

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来



よさの 議会だより

第49号

2018年
8月10日発行



主な記事

- ◎ 新しい議会構成……………2P～
- ◎ 6月定例会のようす………6P～11P
- ◎ 請願審査報告……………12P
- ◎ 一部事務組合報告……………13P
- ◎ クローズアップ……………14P
- ◎ 一般質問……………16P～

消防操法大会

議長



議長
いえき 家城 功



議長
いさお 功

書記



議会事務局長
こまさき 小牧 伸行

9月定例会からの配置図となります。

録音機器	 議会事務局係長 すだ みつあき 須田 美鈴	 防災安全課長 ふじがき ひろあき 藤垣 浩二	 税務課長 ひらの きみのり 平野 公規	 CATVセンター長 まえだ まさかず 前田 昌一	 保健課長 みなくち じゅんこ 水口 淳子	 上下水道課長 やまぞえ まさお 山添 雅男	
 商工振興課長 こむら みつひで 小室 光秀	 観光交流課長 うへだ ひろし 植田 弘志	 農林課長 いのうえ まさゆき 井上 雅之	 住民環境課長 もろ まこと 茂籠 誠	 教育次長 つばくら まさあき 坪倉 正明	 学校教育課長 しばた かつひさ 柴田 勝久	 建設課長 よしだ たつお 吉田 達雄	 福祉課長 たなべ まさお 田辺 茂雄
 企画財政課長 こいけ だいすけ 小池 大介	 総務課長 ながしま えいさく 長島 栄作	 副町長 わだ しげる 和田 茂	 町長 やまぞえ とうま 山添 藤真	 教育長 しほ さいお 塩見 定生	 代表監査委員 たなか しんいち 田中 真一	 会計室長 こいけ しんすけ 小池 信助	 子育て応援課長 なみえ あきひと 浪江 昭人

答弁台

 しもむら たかお 下村 隆夫	 いまい こうすけ 今井 浩介	 やまざき まさふみ 山崎 政史	 すぎがみ ただよし 杉上 忠義	 やまざき りょうま 山崎 良磨	 かわべ しんたろう 河邊新太郎
 あだち たねあき 安達 種雄	 ながしま ひろみ 永島 洋視	 たかおか のぶあき 高岡 伸明	 みやざき ゆうへい 宮崎 有平	 なみえ ひであき 浪江 秀明	 わたなべ かんじ 渡邊 貫治

質問席


 いえき 家城 功	 わだ ひろゆき 和田 裕之	 せはた さとし 勢簀 毅	 ただ まさなり 多田 正成
---	--	---	---

議会構成が 議場に 決まる

議長に 家城 功氏 副議長に 和田裕之氏が就任



議長就任あいさつ



議長
家城 功

町民の皆様におかれましては、平素より議会に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。4月8日には、与謝野町になって4回目の町長と町議会議員の選挙が実施され、議会議員選挙では新人議員が6名、30代の若い議員も3名加わり、新しい体制での4年間のスタートしました。

5月8日には、改選後初めての臨時議会が開かれ、この度第7代目の議長を拝命させていただくこととなりました。

我々議会議員は、一人一人が主張を訴え、町民の皆様へ選ばれ、皆様の声の代弁者となり、政策や施策のチェックをし、それぞれの理念を持ち政治家として活動します。そんな個性豊かな議員の集団であり、議会も、時には一丸となってまとまることも求められます。その能取りを担った責任は大変重いものであると感じております。

議会を取り巻く様々な課題や問題に向き合いながら、議員全員が一丸となって、これからも歩んでまいりたいと感じております。町民の皆様におかれましては、今後も変わらぬご理解とご協力のもと、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、議会傍聴にも積極的にお願いいただき、より一層の理解と関心を深めていただければ幸いです。



監査委員
多田 正成



副議長
和田 裕之

一部事務組合・広域連合議会議員

宮津与謝消防組合

家城 安達 宮崎 山崎 杉上
功 種雄 有平 政史 忠義
(組合副議長)

与謝野町宮津市中学校組合

和田 高岡 宮崎 浪江 渡邊 今井
(組合議長) 裕之 伸明 有平 秀明 貫治 浩介

宮津与謝環境組合

河邊新太郎 渡邊 貫治 永島 洋視 和田 裕之
(組合副議長)

京都府後期高齢者医療広域連合

和田 裕之

京都地方税機構

家城 功

※各委員会・各議員は与謝野町議会の議席順に掲載しています。



議会事務局主任 由利 景子



議会事務局係長 須田 美鈴



議会事務局長 小牧 伸行

議会事務局

与謝野町議会 5月臨時会 与謝野町議会

臨時会のようす

5月8日から5月9日までの2日間開催された。新たな議会構成と議案が審議された。提出議案は、人事案件11件・専決処分承認9件・報告1件が原案通り承認された。

シルクプロジェクト

多田正成

29年度会計決算の最終調整補正と、思った7項目の中で、シルクプロジェクト、養蚕事業の人材育成が、プロジェクト事業費補助金、取組めなかった。その額が1012万8千円の減額。人件費が減額の要因である。その理由は、



蚕と桑の葉

委員会構成

議会運営委員会

委員長 安達 種雄
副委員長 杉上 忠義
委員 和田 高岡 宮崎 渡邊 今井 裕之 伸明 有平 貫治 浩介



総務文教厚生常任委員会

委員長 宮崎 有平
副委員長 多田 正成
委員 和田 永島 浪江 今井 杉上 山崎 裕之 洋視 秀明 浩介 忠義 良磨



産業建設環境常任委員会

委員長 渡邊 貫治
副委員長 勢 毅
委員 家城 安達 高岡 下村 山崎 河邊新太郎 功 種雄 伸明 隆夫 政史



議会広報特別委員会

委員長 高岡 伸明
副委員長 河邊新太郎
委員 和田 浪江 山崎 杉上 山崎 裕之 秀明 政史 忠義 良磨



第2期 山添町政スタート

どうなるシルクプロジェクト



6月補正予算の主な内容 4億400万円の増額 → 総額113億4400万円

- 通学路整備工事・町道改良工事 …… 1億7700万円
- シルクプロジェクト …… 650万円
- クアハウス岩滝改修工事 …… 2194万円
- 子育て世代包括支援事業 …… 236万円
- 移住・定住支援事業 …… 580万円

6月定例会のようす

6月定例会は6月1日から6月21日までの21日間開催した。一般質問には、15人が登壇し、3日間にわたり、学校統廃合、ホップ栽培、空き家対策などについて理事者の見解を質した。
提出議案は、人事案件26件、条例案件3件、平成30年度補正予算4件、その他案件1件、報告2件、請願1件、意見書1件、全議案を可決した。

町内企業応援の制度を

永島洋規

与謝野町企業立地促進条例一部改正について

町内企業には、条件なしで、個人事業主も利用できる制度が必要だ。
商工課長 議論したい。

町内企業には、条件なしで、個人事業主も利用できる制度が必要だ。
商工課長 議論したい。

町内企業には、条件なしで、個人事業主も利用できる制度が必要だ。
商工課長 議論したい。

町内企業には、条件なしで、個人事業主も利用できる制度が必要だ。
商工課長 議論したい。

モノレーターの存続を

勢旗 毅

民間に施設を預けることの案を聞いたが、3年前に検討したが、相手の都合でストップした。
町長 現在も、モノレーターが大峰山の麓、奈良県天川村の洞川財産区で稼働している。週刊誌でも評価は高い。週刊誌でも評価は高い。週刊誌でも評価は高い。

民間に施設を預けることの案を聞いたが、3年前に検討したが、相手の都合でストップした。
町長 現在も、モノレーターが大峰山の麓、奈良県天川村の洞川財産区で稼働している。週刊誌でも評価は高い。週刊誌でも評価は高い。



なくなるモノレーター

大江山を歩く魅力

杉上忠義

加悦双峰公園条例の一部改正について

京都大江山連峰トレイルガイドマップを府中丹広域振興局が発行している。「モノレーター」などを廃止するだけでは、大江山観光に取り組んでいく。



大江山

大江山のすばらしさを

安達種雄

町内の小学校に大江山の素晴らしさを体験できる機会を指導しているが、親子行事で登っている。一旦都会に出て育てる教育をしたい。



大江山から見た風景

大江山のスポットとは

多田正成

登山者が目指す大江山連峰のスポットとは。観光開発を目指すのか、2市1町で大江山観光開発協議会がある。

補正予算 審議

町民のためよい運営を

高岡伸明

子育て支援センター 利用者数が減っているの運営をNPOに変えた理由は。

子育て課長 民間ノウハと29年度を比較すると、ウの導入。ネットワークの広がりを狙っている。

園 直営より委託料のほうが効率が良いのか。またNPOの場合、会費が必要になるのか。

子育て課長 運営経費は直営と差はない。利用料は無料だ。

園 直営で運営するのと、「まるっと丹育」さんとの運営の違いは。

子育て課長 比較はできてない。違う点は、昼食など交流が持てることだ。

園 利用者数が減っていると聞か、事業実績は。

子育て課長 平成28年度250人程度減っている。

園 利用者から相談にのってもらいにくいなどの苦情があるが把握しているか。

子育て課長 子育ての相談については、当然乗るべきだ。相談の内容にもよるので調査をする。

園 十分な比較はできていないがNPO間のネットワークによる研修会・講演会の開催、昼食会などの取組がなされている。

補正予算の規模大きい

杉上忠義

園 約4億400万円の補正は大きな額。町長選の年であることから、3月は骨格予算とし、6月補正で肉付することは理解できるが、基金繰入金約9700万円となっている。

企財課長 ①よく議論してから企画立案している。②災害時対応できる基金があるように意識している。

田加悦町役場耐震工事 工事を始めたいが財源確保が難しいとあるが。

町長 国・府への予算要望活動を続けていく。



府文化財指定・旧加悦町役場



待たれるクアハウス改修工事

クアハウス岩滝改修

安達種雄

園 一階を観光客が利用する食堂にするべきでは。

観光課長 現在の下足室の場所を厨房にして外に向けた食堂にする。

園 北部医療センターと町民の健康づくり計画は、改めて指示をした。

観光課長 プール利用者のために体の不自由な人も安心できるエレベーターを設置。病院と協議する。

建設課長 東屋、LED灯、表示板などは町で設置する。管理は地元でお願いしたい。

加悦こども園進捗は

渡邊貫治

園 加悦認定こども園は、地区の同意が得られたのか。

子育て課長 保護者や地域の説明などで、認定こども園の同意は得られたと考えている。

園 加悦地域こども園基本設計業務委託がなされたが。



かやこども園(仮称)予定地

こども園ブラインド

今井浩介

園 かえでこども園の夏の日除けブラインド設置費用62万7千円、素材等の検討結果は。

子育て課長 3mの高さを2分割し、上部をブラインド、手に届く下部はロールスクリーンの形を検討している。

園 市販では安価なものが多いが、なぜ高額な費用が計上されているのか。

子育て課長 設置場所が台形状であり、オーダーメイドとなるので高額に



現在は遮光ネットで代用

織物振興対策事業

多田正成

園 織物には加工過程が必要だ。技術継承のため、織物技能訓練センターへ糸繰り機、整経機の設置を。

町長 大切な課題だ。技術継承のため、織物技能訓練センターへ糸繰り機、整経機の設置を。振興を考えると、課題として取り組む。



後継者の育成を

直接支払交付金復活を

永島洋視

問 米の直接支払交付金が、自民党政権により廃止された。その影響額は、**農林課長** 年間7千万円。**町長** 町村会では、一次産業の充実を訴えている。

答 20%の所得減となり、打撃が大きい。復活を要求すべきでは。



与謝野の田園



どうなるクアハウス

設計委託料の内訳は

浪江秀明

問 補正予算のうち各種設計業務委託料の合計の比率が高すぎるのでは。**観光課長** 今回クアハウスにおいては、大規模改修工事を予定しており、実施設計の段階であり、配管などの調査費、検討委員会との調整のための費用を積算している。

建設課長 橋脚や道路の測量設計、専門知識を有する業務になるので委託をしたい。**農林課長** 加悦奥川の追加用委託をするため必要となる。

移動販売のメリットは

和田裕之



移動販売車

問 移動販売支援としてキッチンカーの補助に1千万円の多額の補助が計上されている。業者あるいは新規開業者にとっての移動販売形式での営業メリットをどのように考えられているのか。**商工課長** 投資的経費と言った部分で、少ない経費で開業できる。

答 移動販売は少ない投資で開業でき、場所を変えられることができるが、その反面で、営業を長年にわたって持続していくことは難しい形態でもある。商品選びと場所は重要なポイントとなっている。阿蘇ベイエリア周辺、中心で営業販売と計画されているが、経営を持続させるには、収益を増やす必要がある。場所やエリアは広げるべきだ。

商工課長 阿蘇ベイエリアアムスタープランのもと展開をしていく。事業者にとってはやはり収益をあげていくことが重要であり、まずは阿蘇ベイエリアでと考えている。

移住・定住対策補助金

勢旗 毅

問 今回の補正は、住宅を取得し定住すれば180万円が交付されるのか。**観光課長** 今回は、旧加悦町の与謝小学校区に限った移住・定住が対象になる。

答 与謝小や保育園の移転計画で、この地域への転入は今後も厳しい。町内の不動産関係だけでなく、町外の業者にもお願いして欲しい。内外の関係業界にもお願いしたい。



移住・定住者求む

一般会計・補正予算に対する討論

賛成討論

高岡 伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「十分な議案の説明を」

修正可決された、シルクプロジェクトは問題点を見直した内容で提案するべきと考える。説明が不十分であること。計画が大きく変わっていること。議員から指摘されなければ対応できないという状況だ。ずさんとも思える事業ではあるが、町民の思いや願いを裏切るとまでは言い切れない。消極的ではあるが賛成する。

事業の進捗状況は厳しくチェックし、場合によっては打ち切りも見据えて対処することを表明して賛成討論とする。

6月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対
(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議員名	賛	反	河邊	山崎	杉上	山崎	今井	下村	渡邊	浪江	宮崎	高岡	永島	安達	多田	勢旗	和田	家城
議案	成	対	新	良	忠	政	浩	隆	貫	秀	有	伸	洋	種	正	毅	裕	功
加悦双峰公園条例の一部改正について	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	一

請願審査報告

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう 国に働きかける意見書の提出を求める請願

請願者 全京都建築労働組合宮津支部
支部長 上田徳男

アスベストを大量に使用したことによるアスベスト（石綿）被害は、多くの労働者、国民に広がっています。現在でも、建物の改修・解体に伴いアスベストの飛散は起こり、労働者や住民に被害が広がる現在進行形の公害です。東日本大震災で発生した大量の瓦礫処理についても被害の拡大が心配されます。

欧米諸国で製造業の従事者に多くの被害者が出てくるのに比べ、日本では、建設業就業者に最大の被害者が生まれていることが特徴です。その原因として、国が建築基準法などで不燃・耐火工法としてアスベストの使用を進めたことにより、アスベストの多くが建設資材などを通じて建設現場で使用されてきたことが上げられます。

特に、建設業では、現場作業者の多くが重層下請構造や多くの現場に従事することから、労災認定にも困難が伴い、多くの製造業で支給されている企業独自の上乗せ補償もありません。国は石綿被害者救済法を成立させましたが、極めて不十分なもので、成立後一貫して抜本改正が求められています。

審査の経過：紹介議員の高岡伸明議員から本会議で趣旨説明のあと、総務委員会に付託し、全会一致で採択した。

意見書

建設業従事者等のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

提出者 総務文教厚生常任委員会
委員長 宮崎有平

建設従事者におけるアスベスト被害者をはじめ、すべてのアスベスト被害者と遺族が生活できる救済の拡充とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期解決を図ること。

全会一致で採択

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣官房長官

一部事務組合報告

・与謝野町宮津市中学校組合

報告者・高岡伸明

平成30年5月臨時会

◎与謝野町議会副議長の和田議員が議長に選出。

◎関東方面への修学旅行中、天橋立の認知度アンケート調査を行った。結果は、日本三景ではあるが、比較的认知度は低かった。

◎議案第5号 与謝野町・宮津市中学校組合個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正について。全員賛成で可決。

◎議案第6号 一般会計補正予算（第1号）全員賛成で可決。
議案第5、6号とも質疑はなかった。

・宮津与謝消防組合議会

報告者・安達種雄

平成30年5月臨時会

◎1月～4月までの管内の火災件数が12件、前年比8件増を報告。

◎組合議会副議長に家城功氏、監査委員に宮崎有平氏が選出。

◎災害対応特殊科学消防ポンプ車の取得について提案、5社による指名競争入札の結果、(有)西垣消防器具製作所が5745万6千円で落札。本署に配備。

・宮津与謝環境組合議会

報告者・和田裕之

平成30年5月臨時会

◎組合議会副管理者の山添町長が再任。議員は、河邊議員、渡邊議員、永島議員が新たに就任。和田議員は再任。
◎副議長選挙は、安達議長による「指名推薦」により和田議員が副議長に選出。

◎高度の専門性、民間人材の活用、有資格者の活用の観点から、新たに「任期付職員」を採用するため整備するものであり、その専決処分の報告については、全員賛成で承認された。

人事案件

副町長……………和田 茂 氏(再任)

教育長……………塩見定生 氏(再任)

代表監査委員……………田中真一 氏(新任)

訂正とお詫び

※議案日より、第48号の一般質問において、小牧議員の質問の掲載に誤りがあったので、訂正しお詫びいたします。(前議会広報特別委員会編集)

(誤) D社はタンゴフロンティアをM&Aしたが、道の駅を運営せず、阿蘇ベイエリアでカフェショップ・宿泊施設へ投資して、新たな事業展開をしていく。スタートは平成31年春である。D社との約束事項であるため、責任をもってやる。(中略)

(正) 町長から担当者6人に「D社はタンゴフロンティアをM&Aして、道の駅を運営せず、阿蘇ベイエリアでカフェショップ・宿泊施設へ投資して、新たな事業展開をしていく。スタートは平成31年春である。タンゴフロンティアのM&Aは、D社との約束事項であるため、責任をもってやる。(中略)」

■請願と陳情

町政に関する要望や意見を直接、町議会に申し出ることを「請願」「陳情」と言います。

請願には町議会議員の紹介が必要ですが、陳情にはその必要はありません。陳情については、請願のように採択・不採択を決める場合と、提出された陳情のコピーを本会議の際に議員の議席に配付することにとどめる場合があります。どちらの方法にするかは議会運営委員会で決定します。

■請願または陳情のできる方

未成年者や日本に生まれている外国人、町内に住所を有しない人などでもできます。

■受付手続き

請願または陳情は、平日の午前8時30分から午後5時まで、加悦庁舎3階の議会事務局で受付いたします。直接、議会事務局までお持ちください。

クローズアップ

課題の多いシルクプロジェクト

6月定例会において与謝野ブランド戦略の肝入り事業として、シルクプロジェクトの補正予算案が提出された。

第一期山添町政時の平成30年3月定例会には蚕の繭からシルクを生成し販売するというスタイルの提案であった。6月議会で一転、蚕の繭の状態では業者による販売を行うというスタイルの提案であった。これを受け議員側から、ここに至るまでの経緯の説明を求める要望が上がり、急遽シルクプロジェクトについて、議事を中断し全員協議会が開催された。全員協議会では様々な意見や質問が飛び出した。多くの議員のなかには、果たしてこのようなプロジェクトが可能なのだろうか？この数字で果たして販売可能なのだろうかという思いや疑問が駆け巡った。

第一期山添町政時の平成30年3月定例会には蚕の繭からシルクを生成し販売するというスタイルの提案であった。6月議会で一転、蚕の繭の状態では業者による販売を行うというスタイルの提案であった。これを受け議員側から、ここに至るまでの経緯の説明を求める要望が上がり、急遽シルクプロジェクトについて、議事を中断し全員協議会が開催された。全員協議会では様々な意見や質問が飛び出した。多くの議員のなかには、果たしてこのようなプロジェクトが可能なのだろうか？この数字で果たして販売可能なのだろうかという思いや疑問が駆け巡った。

れた数字が必要なのではないか。③全体的に数字の根拠が乏しく感じる。（担当課長からの説明に熱意は感じられるものの数字の根拠が薄く感じられてしまった。）



桑畑

異口にて様々な質疑の応酬が行われ全員協議会は終了し、議会が再開された。結果的には補正予算案は全員賛成で通過した。しかしながら、全員協議会で提示されたシルクプロジェクトにおける数字及び販売は今後も課題に感じた。

第一期山添町政から行われ、今後も引き続き注力されるシルクプロジェクト、今開始したシルクプロジェクト事業、多くの町民の方々が注目するなか、いよいよ船出である。何故に今の時代に養蚕なのか、本当に需要はあるのか、ロングスパンで継続的に事業が成り立つのか、懐疑的な目や声は枚挙に暇がないくらいに向けられている。しかしどんな事業やプロジェクトであれ、おそらく最初はこのような懐疑的な目が向けられる。こうした声を打破し、大成した事業やプロジェクトは多くある。シルクプロジェクト

【広報委員 山崎 良磨 記】

【広報委員 山崎 良磨 記】

住民のための公共施設の統廃合

～丁寧な議論と幅広い合意形成を～

朝から重機の音、空き家の解体作業のようになり、空気が目立つようになってから久しい。愕然とする光景であるが、地域に突きつけられた課題だ。これは、新聞の読者の声の一部分である。一方、大都市では保育園に子どもを預けられない保護者から、待機児童の解消を求める怒りの声が出したニュースを何度も見た。

京都府南部の市では全児童が入れない体育館の建替え、学童保育、図書室、音楽室などの学校施設を使用と報道されている。私たちのまちの定員に満たない保育園・幼稚園。この現代社会のどうすることもできない矛盾を突きつけられている私たち。

こうした状況では、国の画一的な政策だけでは地域住民のニーズには十

分対応しきれないのが当然の成り行きである。市町村の役割・機能を見直す時期にきているという指摘をよく検討しなくてはならない。

国の公共施設に対する動きを振り返ってみると、2013年10月の一部新聞に『公共施設解体に地方債を』と大きく報じられた。総務省は2014年度から地方自治体が学校や庁舎などの公共施設を取り壊す費用を地方債で賄えるようにする方針だ。

人口減少や平成の市町村合併などで自治体は余剰な施設を抱える反面、施設解体費の負担を進んでいない。地方債で資金を調達できるようにして、施設を減らしやすくする。施設の維持管理費の削減に加え跡地の民間への売却につなげると

住民・行政・議会

子どもたち、PTA、地域のみんなの交流の居場所である小学校が、廃校になるといよいよに住民のなかにある『行政に任せ

ておけば』という従来型の考え方が多様な考え方を尊重しながら、議論を積み重ねて決めて行くという住民の『課題解決力』の妨げになっているのではない。

行政にはいいいな説明と議論の場を住民に提供し、『合意形成』を計っていく手順を守っていくことを特に求めている。議会も住民の声や行政の現場の声をよく聞く。公共施設統廃合の背景にある情報を収集する。分析整理して『政策論争』を形にし、住民に争点を示していく。そして『議会広報の発信力』を高めていく気概を持って、議会広報委員会の活動を行っていききたい。

【広報委員

杉上 忠義 記】



かえてこども園

クローズアップは議会だより発行前の議会だ、広報委員会で気になった議題を持ちまわりで各議員に依頼し、記事を書く特集コーナーとします。このページでは、今定例会において争点であると感じた議案について、議員それぞれの思いや考えで皆様にお伝えします。

一般質問

ここが聞きたい



「一般質問」は定例会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であるが、質問を受ける執行機関も共に十分な準備が必要なため事前通告制となっています。「質疑」は提案された議案に対して疑義を問いたすことです。

※発言順に掲載しています

Q 当町の森林管理の状況は

A 管理が行き届かないのが現状と認識している



高岡伸明 議員

の2者ある。統計上個人では20戸だが、林業経営の実態はない。

町 森林経営管理法では管理の適切でない森林は市町村の管理だが、財政的に難しく、町の持ち出しになるのでは。

町長 森林管理は、変動期にあり森林環境税、府民税などの新税の創設が必要だ。町として確実に取得する必要がある。

町長 意欲と能力を持つ業者に委託するというが、どのような業者か。

町長 この法案は、審議中であり詳細については把握していない。多くの課題があるので慎重に対処する。



行き届かない森林整備

町長 当町の森林管理の状況は。町長 当時は、個人管理が中心の森林が多くあり、木材価格が低迷し、管理が行き届かないのが現状と認識している。

町長 所有者の不在・不明が多く、管理が難しくなっていると聞くが。

町長 地元を離れた後継者が多く、森林管理の困難さが増している。森林所有者情報の整備を行いたい。

町長 各市町村には、担当者がいないと聞くが。

町長 本町には専任ではないが、農林課林業水産係に1名配置している。

町長 森林管理者と個人管理者は、宮津・与謝管内で何社あるか。

町長 宮津地方森林組合と民間事業者

Q 合意判断前に通学方法提示を

A 通学方法検討委員会立ち上げを研究する



永島洋規 議員

てくるのを止めた。家を他地域に建てることにしたなど、今から影響が出ている。与謝地域における人口減少と少子化対策や地域振興策の実績は。

町長 大江山運動公園、リフレかやの里、道の駅、大田和線舗装、命の里事業などを実施した。

町長 旧町や太田町政での実績であり、山添町政ではないということ。今後の地域振興策は。

町長 統合後の校舎などの活用については、地域主導において検討委員会を設置していただき地域づくりを一緒に進めたい。

Q 総合課を設け、やさしい町にすべき

A 3庁舎方式である。1窓口ではできない。

町長 高齢者が保健課に相談する場合、岩滝本庁舎の窓口でできないか。

町長 3庁舎には、住民環境課を置いているが、その課ですべての課題を解決できる体制ではない。理解してほしい。

町長 町民にやさしい町づくりをするためには、欠かせないと考えるが。

町長 ささまざまな議論をした中で現状に至っている。

町長 町民をあちらの窓口、こちらの窓口へと、たらい回しにするのは失礼であるが。

町長 ささまざまな議論をしたなかで現状に至っている。理解してほしい。



渡邊貫治 議員



総合課を設けやさしいまちに

町長 学校統合一対し、通学バスを出してほしいとの要望が強いが、バス通学の範囲は、合意後に立ち上げる準備協議会で検討するとの回答のみで、誠実な対応がない。通学方法がどうなるかも統廃合合意の判断基準。教育委員会のやり方は、町民に白紙委任を求めるもので認められない。通学方法を検討する委員会を前倒しで立ち上げ、具体案を提示し合意を求めるべきではないか。

町長 検討委員会を立ち上げることとを研究する。

与謝地域の振興策を

町長 学校がなくなることを知り、帰っ



通学路危険がいっぱい

Q 与謝野町から新嘗祭への献上米を

A 選ばれるよう働きかけたい



勢旗 毅 議員

の増加もなく、地域にとっても期待が持たなくなっている。これは、観光客から文化財を守る規則が管理する側まで縛っているのではないか。以前策定された提言を活かす必要がある。
教育長 文化財の保護活用については、文化財を中核とした観光拠点の整備が通達されている。旧尾藤家も、条例上は食事は可能だが、教育委員会でその必要性を調査、検討したい。

町長 勤労感謝の日には、宮中で新嘗祭が行われ、天皇が国民を代表して農作物の恵みに感謝する日とされている。本町も農業の町として、コメについては特Aの産地として高い評価を受けている。特に天皇が即位をされる年は大嘗祭として盛大に行われる。来年の秋には献上米を携え、農家が宮中三殿に奉納するために、近畿農政局や京都府に働きかける必要がある。
町長 稲作は、日本の伝統文化であり、皇室献上米に選ばれるよう働きかけたい。
文化財と規制緩和



おいしいお米・よさの米

Q 阿蘇ベイエリアの条例等を問う

A 阿蘇ベイエリア条例制定に向けて取り組む



下村隆夫 議員

め、景観法に基づく与謝野町全体の景観条例の制定に向けた調査研究を行っているところだ。

町長 所信表明で、ちりめん街道の町並み修景事業等々と、シーサイドパーク内に景観調和する拠点施設整備と言われたが、条例の改正を視野に入れていいのか。換言すると、与謝野町の美しく豊かな景観を守り育てる条例が加悦区域を指している。阿蘇ベイエリアの弓木・岩滝・男山に該当する条例を制定できるのか。
町長 与謝野町の魅力ある景観を保全して、未来に継承しながらまちづくりを活かしていくことが重要である。第2次与謝野町総合計画の未来像「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」でもこだわっており、そのツールとして景観条例は効果的。岩滝地域には京都府が指定するものしかない



どうする阿蘇ベイエリア

Q 町の認知症対策は

A 包括ケアシステムを目指す

町長 現状では与謝野町内の認知症患者は介護申請を申請するまで把握できないと聞いたが、能動的に調べるべきだ。
町長 町としては誰が認知症かを特定せず、誰もが認知症になる可能性があると考え、認知症高齢者に対する優しい地域づくりと認知症予防の取り組みが大切であると考えている。
町長 現在与謝野町が行っている取り組みは、

町長 認知症ケアパスの配布や有線テレビでの啓発番組の放送を予定している。
町長 今後考えている取り組みは、
町長 啓発DVDを制作し、認知症サポーター養成講座、高齢者サロン、その他出前講座で啓発活動を進めていき



家族みんなで支えあう

たい。9月には丹後保健所などの協力を得て、認知症セミナーを開催する予定だ。
町長 GPSを利用した徘徊探知機の貸出を実施するのはどうか。

町長 昨年度から実験設置をしている小電力無線網を利用して、低コストで持続的運用が可能な高齢者見守りサービスを検討したい。



山崎良磨 議員

Q ホップ栽培・農業振興となるか

A 安定生産・生産体系に注力していく



今井浩介 議員

町長 現在の農業と両立でき、稼げる仕事として説明し納得しなければ、ホップ栽培をしようと思う新規農家は現れないと思う。
町長 農家への呼びかけ、応えて頂く生産体系に注力していく。



ホップ摘みとりのようす

町長 全国的にホップ栽培が増加しているが、後継者不足により廃業も進んでいる。生産者は確保できているのか。
町長 本年1名増え、組合として生産者4名、生産面積76反となった。
町長 クラフトビール産業を進めたいのはわかるが、原料がなければビールもできない。まずは原料となるホップ栽培の安定生産が必要である。
町長 この事業の根幹に関わる課題である。農業振興に向けて、ホップ栽培を重点的に行っていくことが現状だと考える。
農林課長 昨年は480kgの生産量であった。仮にビール醸造所を立地した場合、660kgのホップが必要であるため、安定生産にはまだ至っていない。

Q 財政状況についての考えと分析は

A 今後ますます厳しい状況になる見込み



山崎政史 議員

施設の長寿命化・複合化・集約化・廃止・売却などを検討・実施し維持管理コストの圧縮に努める。

町長 公共施設のマネジメントが財政健全化には重要なポイントであると考え、今後の方向性と考えは。

町長 公共施設等管理計画・実施計画では、この10年で小学校、幼稚園、保育所の集約化が多い。集約後には職員配置のスリム化、運営コストにおいてもメリットが大きく働く。野田川地域の小学校・幼稚園・保育所の再編は、実施計画より前倒しも視野に入れ取り組む。

町長 現状についての考えと分析は。

町長 平成28年度と10年前の平成18年度の一般会計決算を比較、歳出は22億8千万円膨らんでいる。加悦中学校、かえでこども園整備に10億円程度あるが、それ以外に障害福祉費の補助費と下水道への繰入金が大きな負担となっている。歳入は普通交付税の段階的な削減により、今後ますます厳しい状況になる見込み。

町長 今後の対応は。

町長 扶助費は国の制度であり抑制することは難しい。下水道への繰出しは料金の改定、使用者の負担も考慮し、計画的に値上げを行うことで一般会計の負担を軽減していく。また、公共施設等総合管理計画・実施計画をもとに



どうなるまちの財政

Q 担い手の確保が急務では

A 担い手の確保は必要不可欠である



浪江秀明 議員

在のところ財政的理由により考えてはいない。懐中電灯を備えていただきたい。

町長 休耕地・耕作放棄地の把握はできているのか。

町長 農業委員会では、毎年農地法に基づき調査を行っている。

町長 移住者の受入体制は

町長 他地域からの移住者の受け入れ体制は。

町長 平成28年より空き家バンクを創立し、観光交流課内において相談窓口を設置し、空き家の紹介などを行っている。

町長 停電時の避難路は

町長 夜間における災害時の避難路の確保は。蓄電式の街路灯については、現



増えつつある休耕地

Q 人口減少社会、持続可能な自治体を

A ひと・しごと・まち創生総合戦略を策定した



こどもの声がきこえるまち

町長 896の自治体が消滅の可能性があると、民間の「日本創生会議」が公表してから4年。本町は、2040年に人口が1万3558人になり、消滅可能性自治体に入っている。本町は、人口減による苦しい経済活動を強いられ、自治活動や地場産業・伝統文化を継続していくのが困難になってきている。政府の政策に連動する形で人口減対策の「総合戦略策定」が市町の努力義務になっている。しかし、最近の報道によると「出生率回復、実現困難」「市町村の枠組み見直す時期」もある。本町の人口減対策と今後の自治体のあり方をどうするのか。

町長 本町は、高齢化率34%の少子高齢化の年代構造。大学への進学や就職

町長 地方経済の柱は観光

町長 人口減をカバーするために全国各地の自治体は必死に観光振興に取り組んでいる。本町は「文化観光」に特化してはどうか。

町長 観光産業の強化を目指す。「文化観光」も交流人口を生む観光戦略と考える。



杉上忠義 議員

Q 空き家に対する今後の取り組みは

A 空き家対策計画の策定を行う



河邊新太郎 議員

町長 空き家情報の一元化や移住希望者への案内など空き家対策の今後は。

町長 移住希望者に対して、「与謝野町空き家バンク制度」のウェブサイトでの広報に努めている。

町長 空き家総合相談窓口の設置については。

町長 総務課内に空き家に関する相談窓口を設置している。

町長 自転車道の照明設置は

町長 加悦谷高校から道の駅までの区間を先に設置できないか。

町長 区間設定や実施順序は、利用者の数などを勘案したうえで決定されているので難しい。今年から第2期区間として、石田橋から堂谷橋まで着手する。早く第3期区間に着手できるように



空き家の利活用

努める。

町長 保育所について問う

町長 宮津市と京丹後市では、土・日も子どもを見てくれるが、与謝野町はない。若い方々のために環境を整えることができないか。

町長 平成32年度に第2期の子ども子育て支援事業計画を策定するので、今年度か平成31年度にニーズ調査を実施する。その結果に基づいて、子ども子育て会議で検討する。

町長 網野岩滝線の拡幅は

町長 地方道網野岩滝線の拡幅改良についての進捗状況は。

町長 府道網野岩滝線期成同盟会を設立することが決定した。

Q 空き家対策における方針と課題は

A 危険空き家の対策と空き家の利活用の推進



和田裕之 議員

学校内の不審者対策を

○ 18年度の全国の警察が認知した刑法犯は3年連続で減少しているが、一方で子どもたちが巻き込まれる略取誘拐などは増加傾向にある。当町でもストーカー事件、刃物を持ち住居へ押し入る事件、不審者の声かけ事案などが発生している。子どもたちを守るため防犯対策を強化すべきだ。学校での防犯訓練はとも重要であり、子どもたちを守るような対策強化を。

○ 訓練回数が減ってきているのも事実であり、危機意識をもって教員にも指導し、訓練も充実していきたい。



危険がいっぱいの廃屋

○ 当町には、空き家が585戸あり、約1割の61戸は廃屋化しているといった現状だ。対策には2つの方向性が重要であり、所有者に対して適切な管理を行わせ、危険な空き家に対する対策、そして空き家の有効活用と空き家の発生の抑制だ。この空き家問題は全国的にも、また当町においても喫緊の課題であり重要な課題である。「空き家特措法」が制定され、町も対策がしやすくなり、また所有者は空き家放置をしにくい状況になったのは確かだ。当町も早急に「空き家等対策計画」を策定し、総合的かつ計画的に対策をすべきだ。

○ 本年12月を目途に協議会で議論を重ね策定したい。

Q ドクターヘリの運用は

A ヘリの運航は関西広域連合で行っている



安達種雄 議員

○ 地域住民の生命を守る」との使命により公立豊岡病院配備のドクターヘリは、人工呼吸器、除細動器など専門医療機器を備え、フライトドクター、ナースなど5名で空飛ぶ救急室として緊急患者のもとへ向かい、多くの患者の生命を救っている。

○ 豊岡市から与謝野町は空路30kmで、要請して13分で到着するが、患者の希望の病院への搬送は可能か。

○ 運行業領では搭乗医師の判断である。家族の希望も考慮するが、エリアは豊岡病院、福知山市民病院、北部医療センターである。

○ 要請は原則消防機関が行う」とある。高次医療機関への搬送が必要



命を救うドクターヘリ

Q 開票速報の出し方に問題がある

A 正確性を一番に考えた



宮崎有平 議員

教育長の4年間の総括と今後の方針は

○ 教育長の4年間の総括と今後の方針は。

○ 第一に各学校とも大きな問題やいじめ事象も発生していないことは、早期発見・早期対応ができています。第2に学力は、各学校とも平均値であるが、さらに学力の向上に努力したい。今後も総合教育会議を開催し、教育大綱に基づき教育環境の充実を構築する。

小中一貫校の考えは

○ 少子化に伴い学校制度の改編は避けて通れないが、施設分離型の小中連携教育を進める。



なぜ多い、疑問票

○ 開票作業は予定通りだったのか。②開票速報の出し方に問題がある。③KYT放送が有効に使われていない。

○ 4年前の選挙と比べると町長選は30分早く終了し、町議選は5分遅れであり、予定通り終了した。②町長選は3回の速報を発表できたが、町議選は疑問票の確定に時間を要した。一票の違いが、当落に影響するため、正確性を一番に考えた結果、速報を出せなかった。③4年前の開票所生中継は行わず、候補者の得票状況を早く知らせることに重点を置いたが、ホームページもサーバーダウンし、閲覧できなくなり、皆様に大変な迷惑をかける結果となった。今回の反省点を検証し次回以降に活かしたい。

Q 公共施設総合管理の実施計画を問う

A 財源不足のため行政コストのスリム化を図る



多田正成 議員

○ 本当の意味で抑制、行政コストのスリム化を図れるのか。

○ そのままだと管理コストが掛かる。有効活用を検討することは必須となるが、利活用を考える。

京都府へ浚渫要望強化

○ 野田川全体に土砂が蓄積し河床高、蓄積土砂に雑草・雑木が生え、川幅が狭く豪雨時に洪水となる。浚渫時の土砂の捨て場所は当町が確保、協力体制が必要ではないか。

○ 昨年台風18号で多くの被害があった。住民の安心安全は行政の使命。膨大な土砂の捨て場所が必要。皆さんも適当な場所があれば協力願いたい。



老朽化の進んだ公共施設

○ 老朽化が進み、順次建替えの時期を迎える。計画では廃止、改修計画、新設は認定こども園と消防車庫のみである。後世への新たな町創りは考えていないのか。

○ 統廃合計画は財源不足の解消が目的であり、指摘の新たなまちづくりの考えは考慮していない。

○ 認定こども園の新設にしても、図書館、子育て支援センターを集約、複合化させた考えでないか。新設の意味がない。

○ 施設の集約、複合化の検討はしていく。新たなまちづくりは個別の計画などで併行して考えていく。

○ 計画では廃止後の施設が多く残り、利活用はあまり望めない。管理コストは掛かり将来の負の資産となる。

与謝小学校 の紹介

与謝小学校では、大江山連峰のふもと、四季折々の景色を楽しむことのできる豊かな自然や、与謝蕪村や与謝野鉄幹・晶子夫妻など文人のゆかりなども残されている与謝地域において、ふるさとのよさを知り、ふるさとを誇りに思う心情を養うことをねらいとした教育活動を進めています。

また、つながりやふれあい活動を通して、地域の人々の思いや願いに気付き、調べ学習や豊かな体験活動を通して、自己の生き方を見つめ、これからの町づくりについても考え、視野を広げていく児童の育成を目指しています。



毎年恒例の大江山登山



そじょう
遡上したサケの観察



よさこい公演の鑑賞・体験



地域のサロンに参加



環境について発表（阿蘇海の日）

江陽中学校 の紹介

天築ヶ丘から大江山を望む本校は、元気のよいあいさつがあちらこちらから聞こえ、生徒たちが日々意欲的に活動しています。

PTA活動では、あいさつ運動「ホップ・ステップ・ジャンプ」を実施し、家庭と学校が団結して生徒たちの成長を見守っています。

また、生徒会本部が企画するボランティア活動やPTAの環境整備などにも積極的に参加する生徒が多く、地域とのつながりを感じられる取組みを盛んに行っています。

部活動でも、体育系部活動の各種大会での活躍や、文化系部活動での地域の催し物への協力参加や特色ある発表・創作活動によって、生徒の頑張る姿を様々な場面で発信しています。



陸上記録会



環境整備作業



あいさつ運動

今後も「主体性ある生徒」、「創造性のある生徒」、「協調性のある生徒」とともに地元愛を育み、自校に誇りを持ち続けられる学校を目指します。